

## フィリピン バナナの病害と闘う新たなアプローチ

[FreshPlaza 2024年10月3日](#)

ダバオ地方の農業局(DA-Davao)は、かなりの数のバナナに影響を与えているフザリウム萎凋病 - パナマ病としても知られる - がもたらす課題に取り組むことを目的として、トリコデルマ菌の培養に特化した研究所を設立する過程にある。この取り組みは、トリコデルマ菌を他の生物農薬(BCA)と合わせて使用することにより、バナナのフザリウム萎凋病を抑制するための効果的な解決方法を提供しながら、植物の成長を促進することを目指している。

アグリビジネス・メディアフォーラムで紹介された最近の進捗の中で、農業局の果実に関する地域担当者であるアーリーン・ティワン氏は、地域作物保護センター(RCBC)が病害管理のためにトリコデルマ菌を培養する際に、技術スタッフの専門知識をどのように強化するかについて詳述し、「農業局とRCBCとの協力は進行中である。フザリウム萎凋病の影響を受けている生産者にトリコデルマ菌を提供し、トリコデルマ菌をフザリウム萎凋病と戦わせるための体制を整備する資金も支援している」と述べた。

この研究所の設立は、トリコデルマ菌及びフザリウム萎凋病に対抗するその他の生物農薬の製造を合理化するための戦略的な動きである。この土壌伝染性の真菌性病害(フザリウム萎凋病)は、バナナを始めとする様々な植物に重大な脅威をもたらす。ダバオ地方農業局は2022年に、ダバオデオロ州内の3つの自治体(名称省略)にトリコデルマ菌生物学的防除(BioCon)村落研究施設を開設し、フザリウム萎凋病との闘いに290万ペソ(約750万円)の予算を割り当てた。

ティワン氏はさらに、最も生産量の多いバナナであるキャベンディッシュ品種の品質を向上させることを目指し、農業局は商業セクターに働きかけたい旨を強調した。同氏は、「農業局は、民間部門と利害関係者の間の協力のために常にオープンである。フザリウム病の制御を最適化するための適切に文書化された提案であれば、農業局はいつでも歓迎する」と締めくくった。

出典: [SunStar](#)

## オランダ スペイン産のカキの入荷が早い

[FreshPlaza 2024年10月4日](#)

スペイン産のカキのシーズンは今年、異例の早さで始まった。OVフルーツ社のオスカー・ファン・トゥレンハウト氏は、「予想外だ。通常、カキの供給は9月末にゆっくりと始まるが、今年は9月の第3週にかなりの量を受け取った。最初の1週間だけで、トラック2台分を良い価格で販売した」と話す。(以下「」は同氏の発言)

同氏は数年前からカキを販売しているが、現在では販売者の数が減って落ち着いたと見ている。「数年前、ちょっとしたブームがあり、誰もが突然カキに手を出した。しかし、その後、価格競争が起こり、それは誰の利益にもならなかった。スペインの生産者たちは、取引相手を一層選別するようになったことがわかる。カキを消費するのは依然として移民のコミュニティが主体であり、それは弊社の輸出市場でも同じである。販売は主に卸売市場に供給する輸入業者と、カキを効果的にさばける海外の取引先が担っている。」

同氏によると、スペインのカキの収穫量は昨年と同程度の水準にある。「供給量の大半が小玉なのでスーパー向けの1kgパックには多くのカキが入れられる。中玉(入数20-22-24)の価格は2~2.50ユーロ/kg、より大きいサイズは2.50~3ユーロ/kgである。全体として、これらはリーズナブルな価格だ。特に大玉はこの水準をしっかりと維持することを期待している。小玉の場合、この価格水準を維持できるかどうかかわからない。」

「一方、カキに対する病害虫の圧力は常に比較的高いため、シーズンを通じて収穫がどの程度続くかは不確実だ。」トルコやギリシャ等の国々でカキ栽培の試みが増えているが、同社はスペイン産に注力している。「スペインから十分な量を調達できるので、他の国から調達する理由が見当たらない。」

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)